

上山教会の第一印象

永 野 箴 子

私達一家は昭和五十五年三月、主人の転勤のため上山市に移ることになりました。移転に当つては、母教会の深田寛牧師より「河村先生が大変困難な伝道をしておられます。どうぞ力になってあげて下さい。」というお便りをいただいております。また私達の出発の際、喜多方教会の友川栄牧師は「新しい教会に移ったらすぐ転会手続きをなさつて、その教会のために働かれるようお奨めします。それが信仰生活続けるための大きな力になります。こちらのことは心配いりませんから。」と心をこめておっしゃつて下さいました。

こうして、私にとっては上山教会が受洗以来五つ目の教会となりました。主人は未信者でしたが、従兄にカトリックの司祭がいるということもあつてか、キリスト教に対しあまり抵抗がなく「結婚したら一緒に礼拝に出席する」という約束を、時にはしぶしぶながらも果してくれていましたので、感謝しつつ教会生活続けることができました。二人の娘達も、大切な幼児期を喜多方の教会幼稚園で育てられ、日曜日の教会学校も全く自然に身に付いていました。